

四日市のまちを3,156人のランナーが駆け抜けた!

第1回四日市みなとランフェスティバル



2月1日、晴天に恵まれ、風のない穏やかな気候の中で「第1回四日市みなとランフェスティバル」を開催しました。10km、5km、ジョギング(2km)の3種目があり、本市では7年振りのロードレースです。中央緑地を発着点とし、本市が誇る四日市港を巡るコースに加え、メイン会場にはマルシェやキッチンカーも集結しました。ランナーだけでなく、こどもから大人まで楽しめる大盛況の初開催となりました。

5km・10kmの部、ともに好記録続出!!

5kmの部は、四日市市役所の東にある中央通りと三滝通りの交差点を折り返し、ゴールである中央緑地に向かうコースです。

10kmの部は、5kmの部と同じ交差点を折り返したのち、臨港橋を越え、四日市港の埠頭を眺めながら疾走する、開放感のあるコースです。



第1回四日市
みなとランフェスティバル
ダイジェスト動画



5kmの部 (男子) 1位 杉山さん



5kmの部 (女子) 1位 川森さん



10kmの部 (男子) 1位 結城さん



10kmの部 (女子) 1位 伊藤さん

【5kmの部】

男子1位 杉山さん 15分13秒

女子1位 川森さん 17分50秒

【10kmの部】

男子1位 結城さん 31分51秒

女子1位 伊藤さん 38分36秒

大会を彩る 豪華なゲストランナー

東京2020オリンピックマラソン日本代表の中村匠吾さんと、SNSで話題沸騰中のランニングアドバイザー三津家貴也さんをゲストに迎え、トークショーが行われました。
3月31日での現役引退を表明した中村さんに、家族から黄色い花束が贈られました。
三津家さんは、ファンにはお馴染みの「ん～やってみよう」の掛け声を、集まった人々と一緒に人差し指を掲げながら行い、会場を沸かせました。



東京2020五輪マラソン日本代表
中村匠吾さん



ランニングアドバイザー
三津家貴也さん



コースは中心市街地や港



1都2府24県と全国のランナーが集結。5kmの部には、最年長92歳のランナーも出場しました。

小学生以上が対象のジョギングの部では、元気いっぱい駆け抜けるこどもを撮影しようと、大人がスマホを構えながら追いかけている姿が見られました。

マラソン大会でよく見られる、仮装をしながら走るランナーもいて、大会を盛り上げました。



グルメと、 ジャズやダンスパフォーマンスが、 会場をさらに盛り上げる

メイン会場では、キッチンカーが15台出店し、30のブースが軒を連ねるマルシェも開催。たくさんの人でにぎわいました。

ステージでは、サウンドクルーズジャズオーケストラの皆さんが演奏を披露。また、レース終了後には、本市の特産品「かぶせ茶」のPRイベントの一環として、かぶせ茶のプロモーション動画「かぶせ茶パラダイス」に出演している、四日市農芸高校ダンス部の皆さんがダンスを披露。最後まで楽しめるフェスティバルとなりました。



かぶせ茶
パラダイス動画

